

発行：安全な生活を願う市民の集い (Tel/Fax : 042-725-2545)

ニュース・その後(本紙話題の続報です)

●その1「城南信用金庫さんの快挙！」

十二月三日付・朝日新聞によれば、脱原発を四月の段階でいち早く打ち出した城南信用金庫は、「来年一月以降、東京電力から電力を買うのを止める」と発表しました。電力会社でなくても電力を販売できる特定規模電気事業者(PPS)の一つである「エネット」から電気を買う契約を済ませ、八十五店舗のうち七十店舗でPPS電力に切り替えるそうです。

コスト削減のために電力購入をPPSに切り替える企業は始めていますが、「脱原発目的」の大規模切り替えは初めてです。城南信用金庫の吉原毅理事長は「多くの企業がPPSに切り替えれば、東電は原発なしでも十分に後の電力需要に充てていけるはずだ。取引先などに呼びかけてPPSの利用を広げたい」と述べています。城南信用金庫さんの知恵と勇気の前進を、私達はますます応援します！

●その2「Kさん、Oさん、Yさん、お身体お大事に！」

本紙に時々声を寄せて下さる福島県内仮設住宅の皆さんも、困難に耐えつつ年末を迎えておられます。Kさんは就活の努力が実って、昔取った資格を活かせる介護職にパート勤務が決まりました。「精一杯頑張るよ」と、元気なお声でした。おめでとございます！Oさんのお宅では、もう一匹の愛犬がまだ見つかりませんが、Oさんとご家族はお元気で。Yさんとお母さんもお無事です。皆さん！私達は応援しています！

●その3「福島・警戒区域のペット達」

環境省の報告では、震災で福島・警戒区域に取り残されたペットのうち、十一月十三日までに救出されたのは犬430匹、猫228匹とのこと。まだ数百匹が残されています。現地では本格的な冬を迎える前に何とか一匹でも多くの動物達を救出しようとしています。環境省と福島県とは、十二月二十七日まで、一定の条件を満たした動物愛護団体に限り危険区域の立ち入りを緩和し、動物達を集中的に保護する方針です。

ツイッター有志による脱原発デモ《第7回＝本年最後》

12月17日(土) 13:30～ / 渋谷・代々木公園ケヤキ並木南側に集合

Twitterで集まった個人有志による脱原発デモです。原発を止めたい人は誰でも参加できます。プラカードや太鼓などは各自でご持参下さい。【<http://twitnonukes.blogspot.com/> 及び、@TwitNoNukes】



「速報」  
「がんばろう！ ややっとなら原発」  
1000万署名「12・10集会」

十二月十日(土)午後、東京・日比谷公園野外音楽堂で表記の集会が開かれました。参加者は約五千五百人。「九月一九日集会」と同じ呼びかけ人・主催者による第二弾としては、少々寂しい感じが否めません。あの日のあの劇的な盛り上がりは、どこへ行ったのか。年末であり、今冬一番の寒さの影響もあつたでしょう。「熱し易くて冷め易い」の例には絶対にならないで欲しいと思いがながら、壇上のスピーチを聴きました。

呼びかけ人の一人、作家・大江健三郎さんは「署名が何の役に立つのかと言う人もいるが、自分の手で責任を持って脱原発の署名をした人は、必ず選挙の時も同じように脱原発の候補者を書くだろう。署名は百万人ではダメだ。一千万人が原発はダメと言ったら政府も何とか動くだろう。そうした市民の動きのみが政府を変ええる力になる。自分達に出来ることを、力を合わせてやっていきましょう」と、熱心に訴えられました。他に六名のアピールがあり、中でカトリックの司祭は、「人間には、神が造った自然や生命を守る責任がある。将来ではなく今、脱原子力依存が求められている。」との訴え。聴衆は拍手や掛け声で応じつつ、改めて脱原発への意思を確かめました。集会後は、日比谷から東京駅までデモをしました。途中の東電本社前では、十数名の男性社員が、明らかに不測の事態に備えている雰囲気、デモに向かつて防衛態勢の仁王立ちをしていました。会社への忠誠心が強烈に込められたその眼光。この人達にも家族がいるだろうに。家族にも放射能は降っているのに。哀れです。ともあれ、現在までの署名者は二〇〇万人との報告でした。

「アンダー・コントロール」

(ドキュメンタリー・ドイツ映画)

《お観逃しなく！》

12月22日(木)まで (連日 11:15/13:45/16:15/18:45) / 「シアター・イメージフォーラム」(渋谷・宮益坂上=TEL: 03-5766-0114) / 世界は原発の夢から覚めて、今こそ生命回帰への新しい道を探っている！

【後記】私達は、放射能の心配がない安全安心な生活環境を取り戻したいと願う者のグループです。

毎月1・11・21日にこのニュースをお届けします。Faxにて集会情報のご投稿をお願いします。